

(様式3)

事業所名 グループホームたのしや駒ヶ根

ユニット名 いちい/けやき

作成日: 令和 3年12月20日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	コロナ禍が2年続いている事が原因で「職員研修」の機会が減少している。少しずつ緩和されているとはいえ、一気に戻るとは考えにくいので、内部研修を充実させていく。(例:ユニット会議時のミニ研修を毎月継続させる事で、連続性をもたす。)	①職員のモチベーションアップにつなげる。 ②ゆくゆくは各職員が研修リーダー側に回るのが理想。	①各々利用者担当職員がいるので、事例を作って、会議の度に一人利用者の事例を出して、利用者個人の思いや思いの達成度を図る。一ヶ月に一人だと、9ヶ月で一巡するので、10ヶ月目に結果発表し、PDCAサイクルを利用する事により、介護サービスが適切かどうかを見直していく。	12ヶ月
2	26	入所当初は3か月の暫定プランを立てて、その後1年間のケアプランを立てている。ゆっくりとした一日を過ごしてもらう為にあえて目標を1年後にし、認知症で混乱した生活を落ち着いたものに戻す事を最優先させているが、職員にとっては、何が目標なのかが分かりにくいかもしれない。	①月1回の会議の時に、上記のミニ研修と連動させて、現ケアプランを元に、次のケアプランに繋げていく。	①月1回の会議の時に、上記のミニ研修と連動させて、ケアプランを元に、do→checkをし、次のケアプランに繋げていくべく、職員からの気づいた事や提案をケアに取り入れていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月